



# 肥料農薬事業

農産物の安定生産に欠かせない  
肥料や農薬の安定供給、適正使用をすすめ  
人や環境の安全を支えます。



## 安定生産を支える肥料・農薬

肥料や農薬は農産物の安定的な生産には不可欠な資材です。この肥料や農薬を安定的かつ低コストで供給するとともに、より効率的で生産コスト全体が低減できる技術や、安全・安心な農産物づくりのための安全防除の取り組みを行っています。



## 農産物の収量を向上させるための「肥料」事業

安全・安心、美味しい作物づくりには健康な土が欠かせません。JA全農ひろしまでは土壌診断にもとづく効率的な施肥をすすめるとともに、「緩効性肥料」<sup>\*1</sup>や「BB肥料」<sup>\*2</sup>などによる省力・低コストに資する技術・資材の開発や普及をすすめ、トータルの施肥コスト低減に取り組んでいます。

\*1「緩効性肥料」…緩やかに効くことで施肥の無駄や施肥の手間も省ける肥料  
\*2「BB肥料」…製造コストを抑えるため、粒状原料を混合するだけの製法でつくられた肥料



## 農産物の健全な生育と安全を守る「農薬」事業

農薬は農作物の生産に必要な不可欠な資材であり、食糧の安定生産のため、病虫害雑草防除という大きな役割を果たしています。農薬メーカーとの共同開発やジェネリック農薬の開発・普及、大型規格の導入などにより、低価格で高品質な農薬の提供に努めています。また、農薬の安全な使用のため、農薬適正使用の徹底、周辺環境に配慮した防除の実践、防除内容の記録、ならびに農薬使用者を守る防護具の普及にも取り組んでいます。



### 土壌診断事業



「土壌診断」は、水田や畑の土にある養分を分析し、その過不足に応じて施肥を行うよう診断することです。必要な養分を必要なだけ施用できるので、肥料コストを低減するだけでなく環境にも優しいといえます。

### IPM(総合的病虫害管理)



化学農薬だけに頼らず、栽培管理や抵抗性品種の導入、天敵などの複数の異なる防除手段を組み合わせることで病虫害の被害を軽減する方法です。全農では天敵やフェロモン剤、黄色防蛾灯等によるIPMの取り組みを進めています。